

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	全児童化のための施設整備						掲載ページ	
							55	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局
		115,173	千円	3,600	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課
							子ども家庭局	
							子育て支援課	

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	留守家庭の保護者が安心して子どもを預けて働くことができるよう、放課後児童クラブの施設整備を行います。さらに、留守家庭以外の児童も受け入れ、希望するすべての子どもたちの放課後の居場所づくりを推進します。そのため、希望者全員を受け入れることができ、国のガイドライン（児童の生活スペースや静養スペースの確保等）に沿った施設整備を行います。また、適切な指導を行う上で必要な環境を整えるため、大規模クラブの分割を行います。						
活動計画	全児童化のための施設整備で、22年度より繰り越した事業（3箇所）を実施します。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	全児童対応クラブの割合							
	希望する全ての児童を受け入れられるよう必要な施設整備を行い、全クラブで全児童化を実施します。 （最終目標と最終年度）100%（23年度）	74.4 %	100 %	99.5 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調		
	登録児童71人以上のクラブ数 国のガイドラインでは、登録児童数は最大70人までとすることとされています。71人以上の大規模クラブの解消を図るため施設整備を行い、クラブの分割を進めます。 （最終目標と最終年度）0クラブ（26年度）	6 クラブ	減少	3 クラブ		順調 やや遅れ 遅れ 順調		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	全児童化のための施設整備では、予定していた3箇所の整備を完了しました。全児童化のための施設整備により、待機児童の解消などの放課後児童クラブの課題の解決が図られており、有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	施設整備にあたり、立地場所については市立小学校敷地内を、建物については小学校の余裕教室を優先活用することとしており、経済性・効率性の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
大里柳小学校校区で、24年度は施設整備に向けた実施設計を、25年度に施設整備を実施する予定です。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	放課後児童クラブの運営体制の基盤整備						掲載ページ	
							55	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局
		1,247,024	千円	1,389,985	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課
							子ども家庭局	
							子育て支援課	

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	指導員の資質向上を図るため、より実践的な研修に取り組みます。さらに、障害児を受け入れているクラブに臨床心理士を派遣し、指導員に助言等を行います。また、開設時間の標準化の推進に取り組みます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	18時30分以降まで開設している放課後児童クラブの割合 放課後児童クラブは多様な団体によって運営されていることから、クラブごとに開設時間などの運営状況に違いがあります。放課後児童クラブに対する様々なニーズに応えられるよう開設時間の標準化・延長をはじめ、運営の質を高めます。 （最終目標と最終年度）100%（26年度）	87.8 %	向上	96.8 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害のある児童の受入 全児童化により、受入が増加する障害のある児童への対応が適切に行えるよう、研修の充実や臨床心理士等の派遣により指導員の資質の向上を図ります。 （最終目標と最終年度）	195 人	障害児の受入促進	229 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	経験年数に応じた階層別研修など実践的な研修の実施や、障害児受入クラブへの臨床心理士（巡回カウンセラー）の派遣指導といった指導員の資質向上に取り組んだ結果、障害児の受入が促進されています。また、開設時間の標準化に向けた協議をクラブと行い、18時30分以降まで開設しているクラブも増えています。有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	障害児の受入に関しては、市に巡回カウンセラーを設置（雇用）し、必要に応じて各クラブに派遣して、指導員の助言にあたらせることができたため、各クラブで専門職を設置する場合に比べて低コストで効率的な取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
巡回カウンセラーを増員し、指導員に対する助言等の充実を図ります。また、児童への対応の充実等を図るため、専門の見地から指導員に助言等を行うアドバイザーを新たに設置します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	総合療育センター等の専門スタッフの派遣						掲載ページ		
							55		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	保健福祉局
		67,706	千円	72,114	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に「総合療育センター」や「発達障害者支援センター」から専門スタッフを派遣し、指導・助言を行うとともに、保育士等の職員研修を充実することで、障害のある子どもの特性やかかわり方の理解を促進します。				活動実績	活動実績は下記のとおりです。
活動計画	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	発達障害者支援センター及び地域支援室の指導実施件数	191 件	-	163 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行うことは、保育所等の専門性向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)					順調	
					やや遅れ	順調	
(最終目標と最終年度)				遅れ			

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 指導件数は毎年増加し、本事業利用者を順調に伸ばしています。総合療育センターは、本市の障害児療育・支援の中核施設であり、また、総合療育センター等の専門スタッフによる保育所等職員の育成は、より多くの相談者の福祉向上、問題解決を効果的に実施することができることから市民の総合療育センターの機能充実に対する期待は大きいと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 指導を実施しているのは障害福祉に関して知識・経験を十分に有する職員であり、他の職員では同じ成果を得ることができません。また、総合療育センターは指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること

保育所や幼稚園などにおいても障害のある子どもが在籍しており、保育所等の職員の資質向上が必要であるため、専門スタッフによる指導事業引き続き実施します。